

# 日商エレクトロニクス標準BPアセット リリースノートv1.1.0

---

日商エレクトロニクス株式会社

2021/02/25

# 目次

---

- ❖ 変更の概要
- ❖ 修正・追加ファイル
- ❖ 機能追加
- ❖ その他
- ❖ カスタマイズ済プロセステンプレートの修正方法

## 変更の概要

- ❖ オブジェクト機能追加
- ❖ プロセステンプレートの説明改善

## 修正・追加ファイル

フルパッケージをインポートせず、修正の入ったファイルのみをバージョンアップしたい場合は以下のxmlファイルを利用してください。

- ❖ BPA Object – NEEX – MS Excel.xml
- ❖ BPA Object - NEO - JSON.xml
- ❖ BPA Object – NEO – 文字列.xml
- ❖ BPA Process - NET - プロセステンプレート.xml

# 機能追加

- ❖ 新オブジェクト「NEO - JSON」を追加(新アクション：配列データ抽出 を含む)
- ❖ NEO - 文字列に「ワイルドカード比較」アクションを追加
- ❖ NEEX - MS Excelに以下のピボットテーブル関連アクションを追加
  - Create PivotTable
  - Set PivotField Layout
  - Set PivotFiled Subtotal
  - Get PivotField Items
  - Get Pivot Cell Value

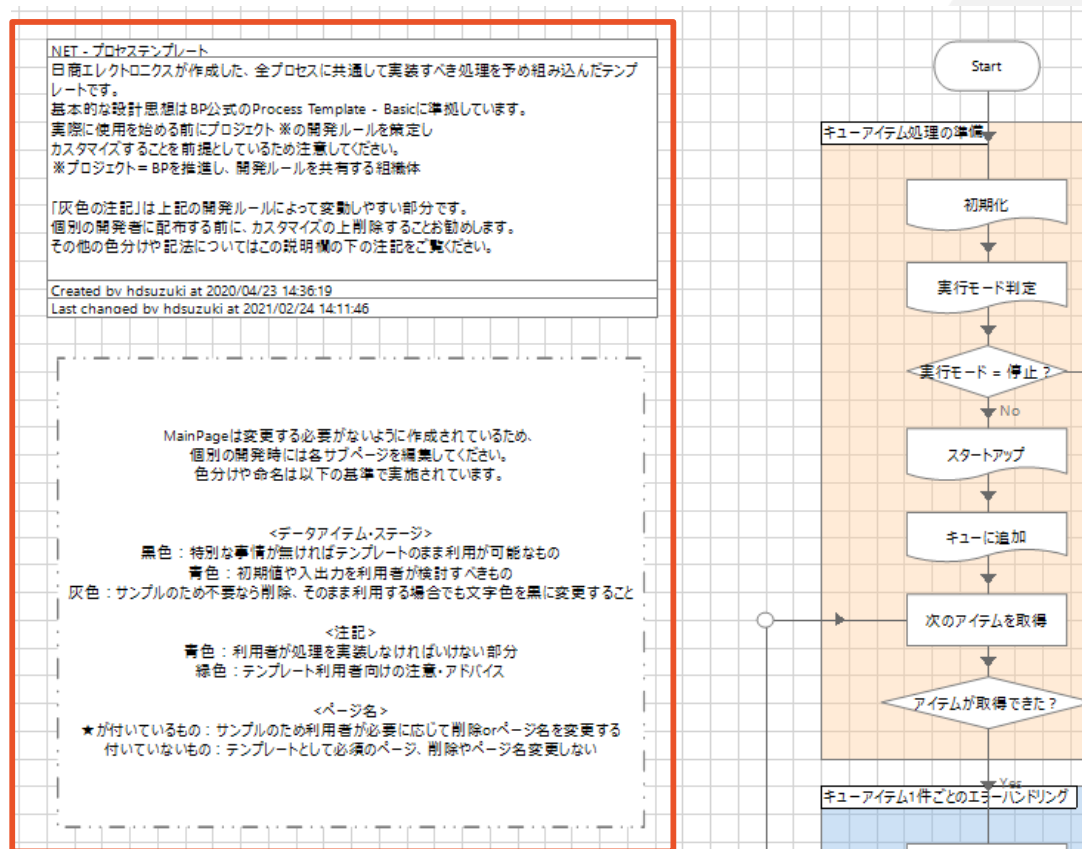
## その他

### ❖ プロセステンプレートのメインページ説明欄を改善（凡例部分を注記に移動）

: プロセステンプレートをコピーしてプロセス作成に利用するとき、  
凡例部分が説明欄と一緒に消えてしまい閲覧しにくい問題への対策です。  
機能的な変更はありません。

# カスタマイズ済プロセステンプレートの修正方法(v1.1.0の修正)

既に環境に合わせたカスタムを実施済のプロセステンプレートに対し、新バージョンの修正点を適用する場合は以下の手順に従ってください。



①  
メインページを開き、  
説明欄(左上)の内容を  
新バージョンのものに更新

②  
その下の注記ステージ  
(MainPageは～)  
をコピーして貼り付け

**V1.0.8以降からのアップデートの場合、  
V1.1.0のバージョンアップは以上で完了です。**

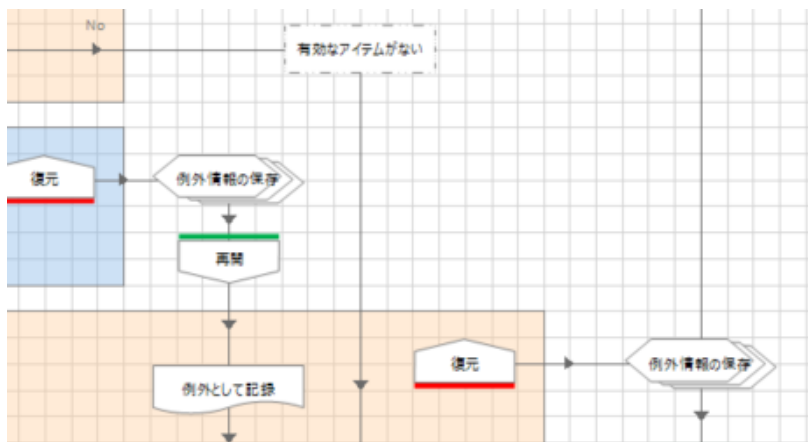
**V1.0.7以前からのアップデートの場合は、  
以降のページもご確認ください。**



# カスタマイズ済プロセステンプレートの修正方法(v1.0.8の修正)

既に環境に合わせたカスタムを実施済のプロセステンプレートに対し、新バージョンの修正点を適用する場合は以下の手順に従ってください。

- ①「メインページ」の「例外情報の保存」ステージ(※2つあります)をそれぞれ開き、3行目に右図のようにExceptionStage()を[例外情報.ステージ]に代入する式を設定する



複数の計算のプロパティ

Name:

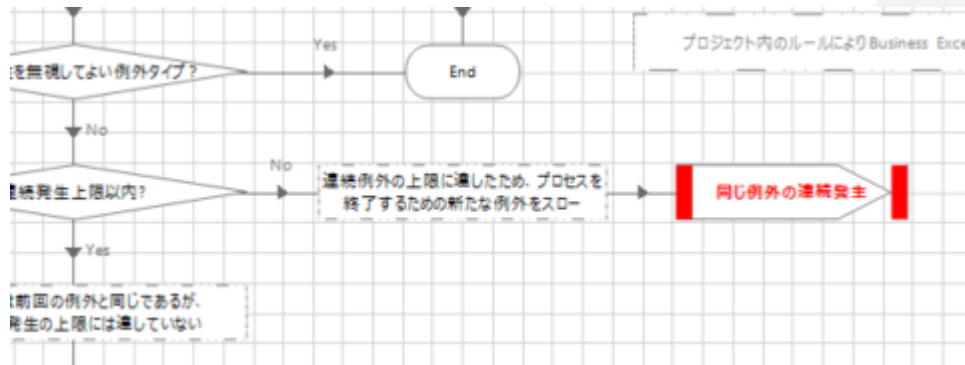
Description:

Expression	Store In
ExceptionType()	例外情報 タイプ
ExceptionDetail()	例外情報 詳細
ExceptionStage()	<input checked="" type="checkbox"/> 例外情報 ステージ

# カスタマイズ済プロセステンプレートの修正方法(v1.0.8の修正)

- ②「例外として記録」ページの「同じ例外の連続発生」例外ステージを開き、エラーメッセージを以下のように修正する

**[例外の連続発生上限] + 1 & "アイテム連続で" & [例外情報.タイプ] & "が発生したため、プロセスを終了しました。詳細:" & [例外情報.詳細]**



数式

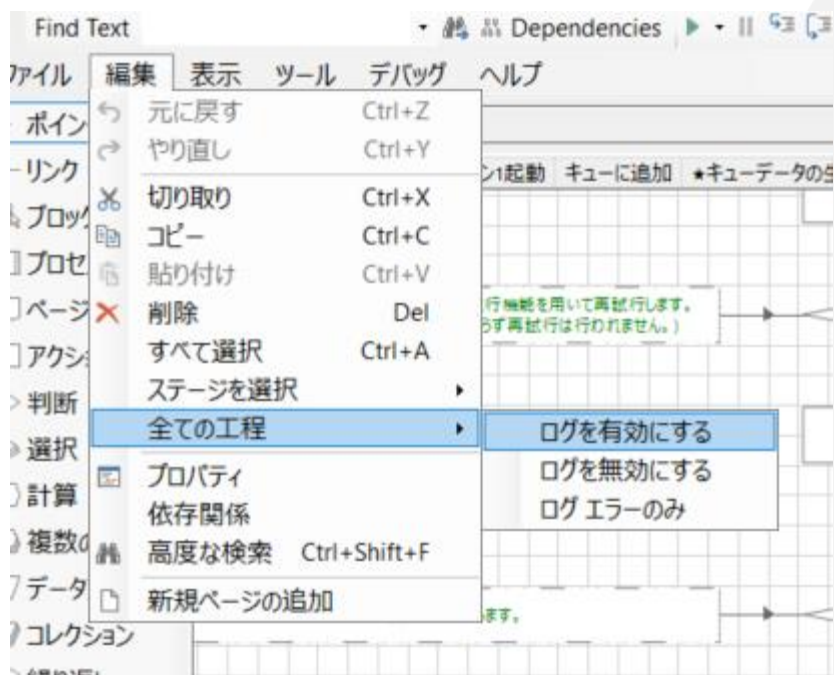
**[例外の連続発生上限] + 1 & "アイテム連続で" & [例外情報.タイプ] & "が発生したため、プロセスを終了しました。詳細:" & [例外情報.詳細]**

※連続で「前と同じ例外が起こったとき」発生する例外のため、上限回数+1アイテムがエラーとして記録されるのが想定される挙動です。

# カスタマイズ済プロセステンプレートの修正方法(v1.0.8の修正)

③左上メニューから「編集」>「全ての工程」>「ログを有効にする」を選択する

※プロジェクトのルールにより、プロセスでもログ出力するステージを限定している場合はそのルールに則って修正する形でも問題ありません。



**V1.0.7からのアップデートの場合、  
ここまででバージョンアップ対応は完了です。**

**V1.0.7を飛ばしてアップデートした場合、  
以降のページもご確認ください。**

# カスタマイズ済プロセステンプレートの修正方法（v1.07の修正）

既に環境に合わせたカスタムを実施済のプロセステンプレートに対し、新バージョンの修正点を適用する場合は以下の手順に従ってください。

- ・「初期化」ページの「業務設定の読込」ステージを開き、「シート名」の入力値を”業務設定”に変更する

Environment: NEO - 汎用Excelフォーマット  
Function: 「項目名: 値」の読込

Input Output Conditions

Name	Data Type	Value
ファイルパス	Text	[パス_業務フォルダ] & [相対パス_業務設定フ...
シート名	Text	"業務設定"
項目名のヘッダ文字列	Text	"項目名"
値のヘッダ文字列	Text	"値"
読込範囲(左上セル)	Text	"A1"
読込範囲(右下セル)	Text	"B1:000"

※設定ファイルの読込周りはプロジェクトごとにカスタムされることが多い部分ですので、既にこの部分がカスタムされていた場合には特に対応を行う必要はありません。